薬事委員会記録

日時：平成30年3月8日(木) 16時00分
場所：医学部1階 小会議室
出席者：伊藤、鶴見、西垣、諏訪、池田、吉倉、早崎、江頭、加納、安田(満)、中島、加藤、五島、長瀬、久保田、北川、荒木、吉田、馬場、大野、鈴木、酒々井、笹井、塚田、玉井、安田(浩)、名和
代理出席者：笹井〔小児〕、杉山〔麻酔〕
委任状提出：白上、山口(昇)
欠席者：村瀬、山口(和)、田中、川瀬、西堀、畠山、紀ノ定、堀川、小森

記録の承認

平成29年12月7日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

11品目（レナデックス錠 4mg、シダトレンスギ花粉舌下液 200JAU/mL ボトル・同 2,000JAU/mL ボトル、プラケニル錠 200mg、ラミクタール錠 100mg、エルカルチン FF 内用液 10%、ナルサス錠 2mg・同 6mg、ナルラピド錠 1mg、オプチレイ 350 注シリンジ 135mL、リンゼス錠 0.25mg）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

1品目（シュアポスト錠 0.5mg）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

2品目（ネスブ注射用 180 μ g プラシリンジ、ゴナールエフ皮下注用 75）について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。

4. 医薬品の製剤変更について

9品目（リツキシマブ BS 点滴静注 100mg 「KHK」・同 500mg 「KHK」、オキシコンチン TR 錠 5mg・同 10mg・同 40mg、テモゾロミド錠 20mg 「NK」・同 100mg 「NK」、献血ノンスロン 1500 注射用、ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL 「マルイシ」）について、申請診療科および薬剤部より説明され、ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL 「マルイシ」以外の8品目について新規採用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。

筋弛緩薬のロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL 「マルイシ」はエスラックス静注 50mg/5.0mL からの切り換えであるが、既に同効薬のマスキュラックス静注用 10mg がベクロニウム静注用 10mg 「F」に切り換わっており、名称類似のために医療安全上問題があることから、次回以降の委員会で協議することとした。

献血ノンスロン 1500 注射用の適応症について委員から指摘があったが、問題のないことを確認した。

5. 医薬品の採用中止について

3品目（ネクサバール錠 200mg、プリンク注 5 μ g、エボジン注シリンジ 1500）の採用中止を承認した。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

① 医薬品の院外採用について

14 品目（ジヤドニユ顆粒分包 360mg、マヴィレット配合錠、イブランスカプセル 25mg・同 125mg、ゴナールエフ皮下注ペン 450、クラシエ五苓散料エキス錠、クラシエ小青竜湯エキス錠、ルパフィン錠 10mg、コンサータ錠 36mg、ビプレッソ徐放錠 50mg・同 150mg、エルカルチン FF 内用液 10%分包 5mL・同 10mL、レクタブル 2mg 注腸フォーム 14 回）の院外採用を報告した。

② 医薬品の院外製剤変更について

2 品目（イルベサルタン錠 100mg 「DSPB」・同 200mg 「DSPB」）の製剤変更を報告した。

③ 医薬品の院外採用中止について

6 品目（ヴィキラックス配合錠、サラゾピリン坐剤 500mg、リオベル配合錠 LD、プリジスタナイーブ錠 800mg、レクシヴァ錠 700mg、レミカットカプセル 2mg）の院外採用中止を報告した。

④ 緊急購入医薬品の登録について

救急で治療が必要な医薬品 12 品目（ダラザレックス点滴静注 100mg・同 400mg、スミフェロン注 DS300 万 IU、ラベタロール塩酸塩錠 50mg 「トーワ」、グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg/50mL 「HK」、ベンリスタ点滴静注用 120mg・同 400mg、イブランスカプセル 25mg・同 125mg、ボンゾール錠 100mg、スピラザ髄注 12mg、レクタブル 2mg 注腸フォーム 14 回）、継続投与が必要な医薬品 2 品目（ホスレノール OD 錠 250mg、ラジレス錠 150mg）、計 14 品目の緊急購入の登録を報告した。

2. 販売中止医薬品について

2 品目（テオロング顆粒 50%、フェナゾックスカプセル 50mg）の販売中止を報告した。

3. 販売中止に伴う剤型変更医薬品について

エルカルチン FF 静注 1000mg シリンジの剤型変更を報告した。

その他

1. 医薬品の安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況について

平成 30 年 2 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。その結果、C 評価の項目はなかったとの報告があった。

2. フォーマリナーの運用について

G-CSF 製剤について、フィルグラスチム BS 注シリンジ(バイオシミラー)を第一選択とした院内ルールを作成し、本ルールに従って医薬品を使用した場合、最大で 1,036 万円/年の医薬品費削減効果が得られることを説明した。フォーマリナーの導入の詳細については今後、他の委員会等でも審議することとした。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 30 年 6 月 7 日(木)とした。